



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

2018年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I 会長 イアン H. S. ライズリー



ロータリー:
変化をもたらす

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会

平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛腸章

1月15日号

第3052回例会

(12月11日(月)第2例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. 出席100%表彰
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 卓 話
「神社よもやま話」
群馬県文化財調査員 平塚 貞作 様
9. 点 鐘

ようこそビジター

〈卓 話 者〉 群馬県文化財調査員 平塚 貞作 様

〈米山奨学生〉 沈 軼驊 君

出席 100%表彰

竹内 靖博君 通算 22回
月門 快憲君 9回
朝倉剛太郎君 2回



- ・1/1 休会
- ・1/4 桐生倶楽部新年互礼会
- ・1/5 桐生商工会議所新年互礼会
- ・1/6 ガバナー諮問委員会・宮内ガバナーエレクト壮行会
疋田パストガバナー出席
- ・1/8 成人の日の為、休会
- ・1/15 新年初例会 アルパ演奏

米山奨学生 奨学金授与

沈 軼驊 君



幹事報告

- ・桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各 RC より週報到着。
- ・次週は、家族合同クリスマス忘年会です。桐生プリオパレスにて、18時30分点鐘となりますので、お間違えないようお気をつけください。
25日(月)、1月1日(月)、8日(月)の例会は、休会です。
次回桐生倶楽部での例会は、1月15日(月)新年初例会となります。
- ・事務局年末年始休暇は、12月29日～1月3日までとなります。緊急の連絡は、幹事までお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成29年12月11日)
総員65名:出席38名
平成29年11月27日例会修正出席率:80.33%

会長の時間

《報告》

- ・12/4 定例理事会
- ・12/5 RAC 最終例会 会長出席、懇親会
- ・12/7 S.A.A 家庭集会

《予定》

- ・12/16 青少年交換クリスマス会
桑原カウンセラー、飯塚国際奉仕委員長 出席
- ・12/18 未来企画委員会 家庭集会
家族合同忘年クリスマス会
点鐘:午後6時30分 場所:桐生プリオパレス
- ・12/25 休会

☺ ニコニコボックス

前原勝君、坪井良廣君…県文化財調査員の平塚貞作様を卓話者にお迎えして／木村滋洸君…結婚祝／竹内靖博君、月門快憲君、朝倉剛太郎君…出席 100％／木村滋洸君…写真戴きました。

卓話



「神社よやま話」

群馬県文化財調査員
平塚 貞作 様

神社のことでまずイメージされるのが、お参り、参拝ですが、これは正式な作法として多くの方が知るところですが、お参りの入口でもありますが、お賽銭のお話をしてみます。

お賽銭については、人それぞれ、幾らだろうかというとなかなかわからない用ですが、統計調査がされています。

皆様方と同世代一般の方々ですと、お賽銭は、5円、10円、50円が殆どです。最近では細かいお金を混ぜて投げているようですが、これとて 500 円にも満たない額となります。

実は日本人のお賽銭の平均金額は960円程といわれています。皆さん世代は大幅に下回っています。

これは、この世代がお賽銭はいくらがふさわしいかという教育を受けているからです。

若いころ思い出してください。昭和20年代から、30年代もはや戦後ではないと言われ、高度経済成長に邁進していった時代で、このもたらしたものの一つがレジャーの多様化といわれ、一泊二泊の豪華社員旅行が大流行でした。私も桐工を出て会社つとめをしていましたが、新入社員は中高卒が多く、40人程の規模でしたが、今まで修学旅行しか経験のない人が、社員旅行がいきなり豪華なバス旅行でした。

バスガイドさんの退屈しのぎ話の中の一つに、「今お参りした神社でお賽銭は幾らだったでしょう？これから善光寺さんにお参りしますがいいことを教えましょうか」ご縁があるように、5円、十分にご縁があるように15円、二重にご縁があるように25円・・・55円、でも65円はいけません・・・ろくなもんがない、75円はなかなかご縁がありません、85円はやっぱりご縁がありません、95円は苦勞のご縁、105円はどうとうご縁がない・・・などと、たわいもないお話しですが、社会人一年生の私達は、新鮮な響きで、お賽銭というのはそんなもんだと・・・まともに受けて、高度成長時代を生きてきた私達世代です。

先ほどの賽銭960円、明治神宮で初詣をした人の聞き取りした統計調査の結果です。

昨年の数字では、はたらきざかり世代、外国人は2017円、30歳代子育て世代は500円、1000円、20歳代と思われる若者層2900円になるそうです。われわれ高齢者は290円、300円が多かったそうですが、この種の調査は、それらしき人を選んだ選別調査だと思いますが、新聞発表されました。

現代の賽銭事情は時代とともに変化しています。初詣では、若かえって奮発してもらえば、会員寺社ではまちがいなく喜んでもらえますね。

賽銭とは何か・古事記、日本書紀、風土記の中には、文字として伝えられています。

天孫降臨(てんそんこうりん)、天照大神のお孫さん(天孫)である邇邇藝命(ににぎのみこと)が、天照大神の神勅を受けて葦原の中つ国をつくりかためるために高天原から日向国の高千穂峰へ天降(あまくだ)ったのですが、霧がかかり道が見えない、国人(土着の先住民)の大橋小橋という兄弟が、「お困りでしょう」ともっているお米をまきなさいといわれ、そうしたところ霧が晴れて道が明るく開けてきました。散米(神前に撒く米)、打ち米が原点で、貨幣経済の進展とともに、お金を撒くようになって、賽銭となっていきました。

バラになったものを紙に包んでまとめる→おひねりの始まりですが、ひとつの箱を作って賽銭と文字を書き、わかりやすく賽銭箱をつくって、現在のようになって来ました。

事をなそうとしたとき、準備万端はするのですが、なかなかうまく行かない、成就しないのが世の常でありまして、昔の人はこのようなことは悪魔の仕業と言われてきました。お賽銭というのは、心の霧をはらすため、魔除けという2つの意味があるわけです。お参りについて一番重要なことは、いらいらしたり、むかむかしたり、冷静な判断が出来ないときのお参りこそ、不謹慎なものはないと言われてしています。お参りするからには清々しい 爽やかな、正直な気持ちでお参りするものです。お参りそのものが、いままでどうにかこうにかやってこられた、神様に対する感謝が真っ先で、その次に皆さんの努力や思いの丈を神様に伝えることになります。

参拝の二礼二拍手一礼の、二拍手の一拍目は 感謝を申しあげ、思いを伝え、努力目標を伝えること。

神様は受け入れてくださり、神様の心をいただくのが二拍手の拍手です。そうすると誰しもがありがたいという気持ちを表すのが、最後の最敬礼となります。

お賽銭は、誰のためではなく、皆さん自身のためのもので。鳥居をくぐると神社の荘厳な空気感がありますが、この神域を守り保っている維持管理する貴重な財源、皆さんから神様への捧げ物、皆さんの思いが成就するための心構えとなる準備の貴重な資金なんだとご理解をいただければよろしいのではないかと思います。

お茶のみ話でしたけれど、今後お賽銭を投げ入れるときの、ご参考になればありがたいと思います。

本日のお食事



大龍 中華弁当

🌸本日のお花🌸

